

## 消毒液噴霧器

## 小松市に寄贈

イケガミ

小松市今江町の建材メーカー「イケガミ」は、新型コロナウイルス感染症予防に使ってもらおうと、市に自動消毒液噴霧器六十八台を寄贈した。同社取締役の池上和美さん(五八)らが市役所を訪れた。噴霧器は高さ

約四十センチ。下に手をかさすと、センサーが反応し、消毒液が吹き付けられる。寄贈品は市内の全小中学校と市立高校の計三十四校に二台ずつ配布される。

池上さんは「新型コロナウイルスに加え、冬にはインフルエンザ感染も増える。噴霧器を子どもたちに役立ててほしい」と話した。和田慎司市長は「市内でここ一カ月、新型コロナウイルスの新たな感染者は出ていないが、日々気を付けたいといけない。寄贈は大変ありがたい」と述べ、感謝状を渡した。

(坂麻有)



自動消毒液噴霧器を寄贈し和田慎司市長から感謝状を受け取る池上和美さん(五八)＝小松市役所で